

HDMI & DisplayPortの最新動向を通して
デジタル映像技術の最前線を知る

8K/60Hz 対応

高速ビデオ・インターフェース・ウォッチ

第2回 HDMI最新情報(1) …ハードウェア構成/最新バージョンの仕様

長野 英生

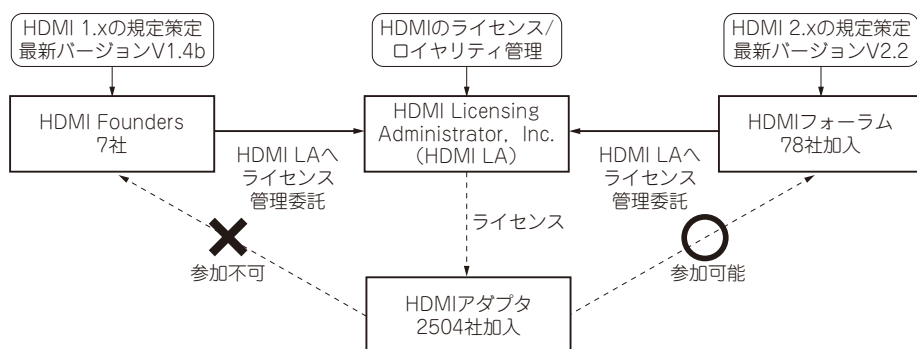


図1 HDMIのライセンス管理

V2.0以降はHDMIフォーラムという開かれたコンソーシアムが設立されHDMIアダプタも規格策定に参加できる

4K, 8K, HDR, 高リフレッシュ・レート…高精細な映像体験は、HDMIやDisplayPortといった高速ビデオ・インターフェースの進化なしには実現しません。

連載では、デジタル映像の最前線を支える重要技術に焦点を当てます。

HDMIの基本情報

● 搭載機器は140億台超

映像と音声を1本のケーブルで伝送できる初のデジタル・インターフェースとして2002年にV1.0がリリースされたHDMIは、2024年度に9億台の機器が出荷され、これまでの累計出荷台数は140億台に到達しました。アプリケーションも、テレビ、PC、モニター、DVD、セットトップ・ボックス、オーディオ、ゲームの他、医療、航空機など多岐にわたります。

● 規格は大きく2種類

V1.4bまでのHDMIの規格策定は、HDMIファウンダ注17社によって行われてきたため、HDMIアダプタ注2は規格策定に参加することができませんでした。しかし、V2.0以降はHDMIフォーラムという、開かれたコンソーシアムが設立され、HDMIアダプタも規

格策定に参加できるようになりました(図1)。これによりHDMIの規格はV1.x系(最新V1.4b)とV2.x系(最新はV2.2)の2種類が存在しています。

● 開発/販売する場合のライセンス手続き

HDMIのライセンス管理は、HDMI V1.x系、HDMI V2.x系とも、HDMI Licensing Administrator (HDMI LA)が行っています。2025年9月現在、2504社がHDMI LAに加入しています。

HDMIを使った製品を開発/販売する場合は、次のライセンス手続きを行います。

- HDMI LAにてHDMIアダプタ加入契約を行い年会費を支払う
- HDMI V2.x系の規格策定に参加したい場合は、HDMIフォーラムにも加入し必要な年会費を支払う。HDMIフォーラムへの加入は任意であり加入しなくてもよい
- 製品開発するためにHDMI規格書をHDMI LAから入手する

注1：HDMI規格を共同で策定し立ち上げた創設企業のこと。

注2：HDMI規格に基づいて製品を開発/製造/販売するために、HDMIのライセンス契約を結んでいる企業のこと。